

## <連載> ともに 支えあって 生きる社会をめざして (5)

理事長 高見 優

### 組合員・住民のニーズにこたえて～「生活なんでも相談・支援」事業

●最近の会報は、歌の会、庭の草刈りや柿の木オーナー、老いから死まで・生き方講座やスマホ教室、笑天街、天寿園、組合員の投稿など盛りだくさんになってきました。

先日、私も葡萄の木で開催された「スマホ教室」に参加しました。古くなったカーナビは新しい道路情報が見られず困っていたらスマホで全てOKとのこと、しかも半年ごとに無料で最新情報に更新される、と。次回は、さらにスマホの便利な使い方を教えてください。あなたも参加しませんか？

○昨年ころから、本部・各事業所で「よろず相談」をスタートしました。家族のこと、相続財産の問題、入院・入所時の身元保証、仕事とケガ・病気、就労その他、さまざまな相談が寄せられます。人間は結局、みんな一人で生まれ、今は複数で暮らしていても順次亡くなって行き、死ぬ時もやはり一人。それに備えておかないと誰かに迷惑をかけることになります。でも、お互い様だから、皆さん、お互いに迷惑を掛け合いましょうね。そのために「ささえあい生協」がお役に立てればよい。経験を積み重ねてスキルを高め、他の専門家・団体とも連携すれば、豊富なメニューを取り揃えることが可能です。

本年度から、ささえあい生協グループで本格的に葬儀ほか終活事業を始めます。(リーフレット同封)

●本年度中に「法人成年後見人事業」を開始したいと、関連法人で企画中です(組合員が利用するには別法人でなければならない)。そのほか、自分の老後を自分で決める一般社団法人「縁樹」にささえあい生協も加入しており、身元保証、生活支援、死後事務などのサービスが利用できます。(本部事務局にお問い合わせください)

○65才になると自治体から「介護保険被保険者証」(緑色)が送付されます。でも大部分の方は、複雑な介護保険制度について、よく分からないのではないのでしょうか？そこで、当生協の専門職などを講師として、組合員向けの介護保険制度を学ぶ機会を設けたいと考えています。組合員・読者の方から、ご要望があればご連絡ください。希望が多ければ開催を急ぎます、よろしく。

●組合員の中には、ささえあい生協の外でさまざまな多彩な活動をされている方がいます。歌や楽器演奏、絵画や映画、読書会、踊りほか文化サークル、登山ほか各種スポーツ、子ども食堂や介護支援ほかボランティア活動……。マスコミに取り上げられた光輝高齢者トリオの「笑年隊」に組合員の姿も。元気高齢者がもっと元気に、ささえあい生協の内外の交流の機会も増やしましょう。

新潟市中央区支部(笑天街)、三条「鬼が島」、さらに佐渡市「両津地区」で拠点を模索中。「ささえあいしやま」や「ささえ愛下山」などでは、地域組合員の協力で集いが開かれ、その他の事業所でも「運営推進会議」ほか地元の方と祭りなどのイベントを実施しています。

県下各地に約1500人の組合員がおられます。1区～6区の地域ごとに、できればさらに小さな地区で、理事と総代および事業所があれば職員代表者も(可能なら)、顔合わせし、懇談会やお茶会など、やれることから始めてみませんか？

(ご感想・ご意見をお寄せください：編集部)